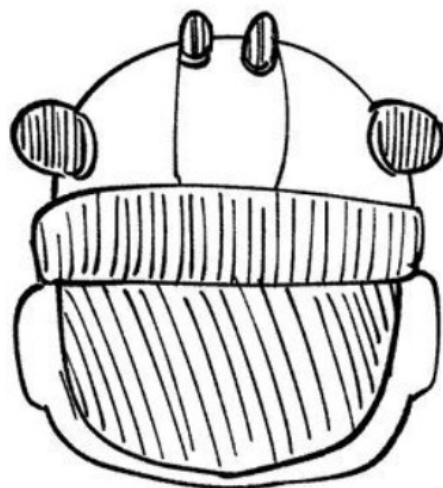




叛化者には
重い罰を!

うるあふのふたゝ兄隣
 うるあふのふたゝ兄隣

A black and white line drawing of a cat's head and shoulders. The cat is wearing a large, striped bow tie. The bow tie has a central circular knot and two large, rounded ends. The entire bow tie is filled with vertical hatching lines. The cat's head is positioned behind the bow tie, and its ears are visible at the top. The cat's body is shown as a simple outline at the bottom.



その昔銀河を彷徨う
巨大な生命体が居た

彼女は強大な力
生命を生み出す力を持っていた

やがて彼女は
とある銀河系にたどり着き
自らの体を作りかえ

その身を置く



この地球が生命体だと言う
事実は今や知る者はいない

ガ

危険任務に指定されてる
割には
大したことなかったわね

私^{さいき}彩木わかばはこの区域の
部隊を率いるリーダーを
務めている

フ
ウー
ウ

通常ならチームを組み
任務に臨むが最近は一
人手が足りず私が最近
向かう事も多くなった人

…やっぱりおかしい
資料に書いてあった
通りならこれはただの一般兵



私達は日々こうして
地球外生命体から
この地球を守るため戦っている



そしてもうひとつ謎なのは
この力は地球にいる間だけの
限定のものという事

ひとたび地球外へ連れ去れば
私たちは力を失う事になる
それだけは避けなければ……

他に生命体の反応も
無いみたいだし
本部に報告に帰ろうかしら

……っ！

気配がしなかった……！

力が……入らな……

ふふ……



おや目が覚めたかい？

フッ

……！お前は



……ここは……



かたー

体が動かな……



動けないだろう？
そこで大人しくしている
小娘……

あ

こいつはデータに載っていた
この船の主……



この部屋はお前たちに
探知されないよう
電波を遮断する特殊な金属で
出来た部屋さ

そしてお前を拘束する
その装置は全て地球上に
あるもので出来たものだ

この地球は
大昔生命体だった事は
知っているか？小娘

この地球は自身を守るために
お前達のような外部と戦う
者を作り出した
お前たちは地球の奴隷なんだよ

何のために
わざわざ…

この地球が生命体？何を
ふざけた事を…!!

では何故この星に
多くの者が来るか
分かるか？

言っておくが皆生命を
生み出したくてそれを
狙っているわけじゃないぞ？
それだけのエネルギーを使えば
別のことに活用する事が出来るのさ

この地球は
生命を一から生み出す事が
出来る強大な力を持っている

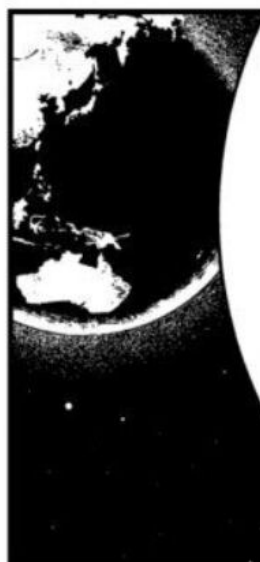
別の事…？

この銀河を征服する力……
例えば星ひとつ吹き飛ばすなど
この力があれば一瞬で出来る

……まさか

本当さだから皆
それを求めやってくる

だが地球の力を
手に入れるのは
少々面倒な事があってな



通常この地球では
余所者はお前達のような人間に
殺されるか地球の力の源を
引き出せたとしても
触れることすら出来ずに終わる

何故か……それは力の源に
触れる権利を持つのは
この地球に生まれる
生命のみだからだ



そしてその源にたどり着く
為のゲートはお前達にある

……！

あああああつ！



ふふっ地球で一番硬い物質で作ったその拘束具はお前たちの能力では破壊出来ないぞ自分を破壊する必要は無いからね

体の奥から何か……

っあああっ！

出た……これが地球の源……地球の核のカケラ

だが私はこれに触れる事は出来ない……まだ私は部外者だからな

お前達がどうしてその力を使う事が出来るか分かるか？

あっああ……



あっあああ...

今からおまえと私の体を入れ替えさせて貰う

体が熱い...

安心しろ
細胞を入れ替えるだけさ

おまえの容姿は
変わりはない

まあ本来なら
私の体型も交換する必要は
無いが...







ふふふ…いい眺めだ



あああつ

このままじゃ…
まともに…うごけなくっ
どうしたら…っ



させないっ



たい…

ん？何だい？

爆破キー起動
不確定…5.4
…3…2…



絶対っ

おまえの思うようにはっ

何故
抜け出せ……っ

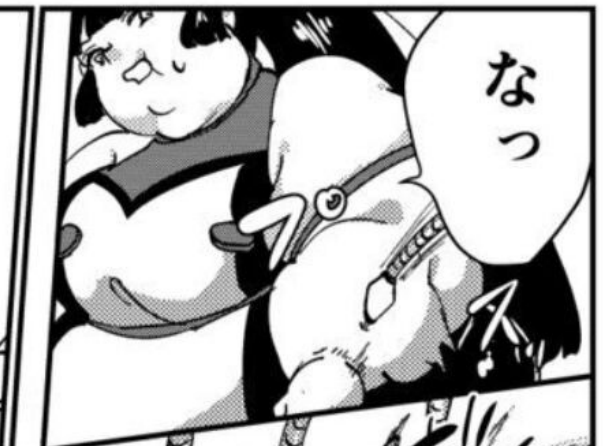
あんたが能力を使って
では壊せないって
教えてくれたのよ

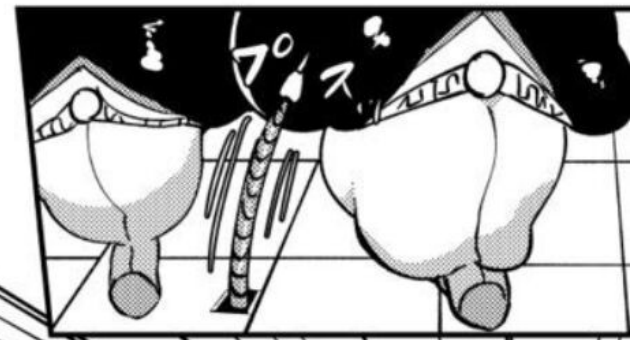
あらこの管……力を
込めてない私の鞭でも
壊せる強度なのね

……スーツに小細工か
まさか装置が壊せるレベル物を
積んでいるとはね
それにしても突破される
なんて思っても無かったから
強度が足りないねえ
油断したよ

ほとんど入れ替えた
とはいえ力を使われると
当たれば流石に
死ぬかねえ
まだ核との繋がりも
切れてないようだし

これで終わりよ！





足が……っ
これじゃ動けな……っ



勝手に逃げたんだ
ペナルティが必要だと
思ってたな



先程から注入して
いるのは
少し変わった薬剤でね



うっ……
離せ……



人ならざる姿に変わるの
は
どんな気分だ？

私の細胞を混ぜて作った
特別製だ
お前は私のような
容姿に変わり



そして私は
お前から取った細胞から
作った薬剤で
お前のような容姿に変わる

私の容姿は
どの星に行っても
嫌悪される程の
お墨付きだ

フッ
フッ
フッ

さわるなっ

ほら
はなしたぞ

暴れても無駄だ
もうお前に力はない
完全に私のものに
なったからな

ズ
オ
オ

飽きたら戻すつもりでいたが
やめておこう
容姿などどうでもいいと
思っていたが悪くないな

ああっあっ

こんなの
あんまり

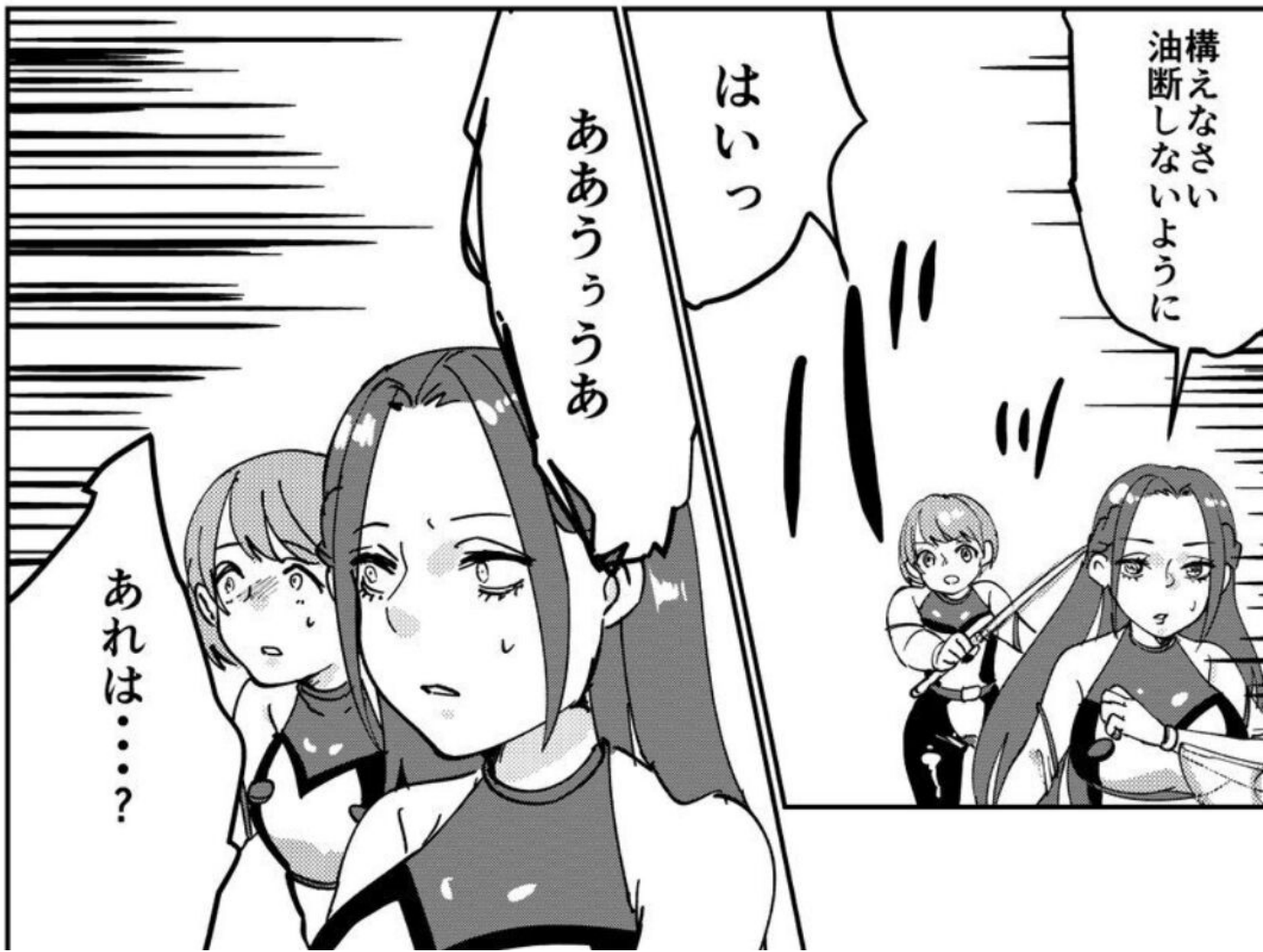
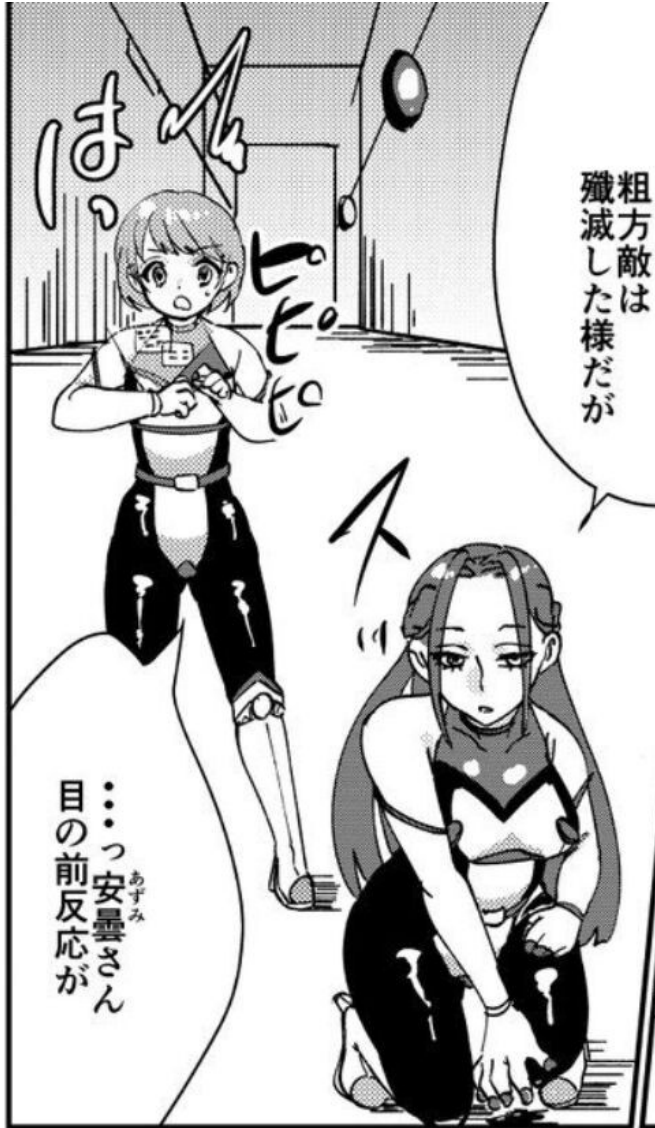
お前はその顔で
一生涯生きていけ
そして

仲間が捕まり
お前と同じ目に遭う様を
指を咥えて見ているがいいさ

ふーし

ふーし

うっうっう



なんて酷い見た目…
送られてきたデータに
載っていたものと
同じ格好ですね

ゴ?

取り残しだろう
さっさと片付けよう

ああああううう

はい

はあっ!

うああっ

効かない!?
どう言う事…
なんなのあの化け物…

ん?
ヨ?

あ
あ

油断するな
行くぞ!

ああ……違うの
違うのよ

安曇さん……そのか
：私なの

あああああつ

どうして
気がついて
くれないのっ！

ぎゃっ！

いやあ！

くそっ化け物め！
そのかを離せ

いやあああつ

そのかつ！

なっ効かない……!

安曇さんっそれは
いつもの武器じゃなくて……
もっと普通の……

私がやった訳では……
安曇さんっ私がそんな事
する訳無いでしょう

グ
グ
グ

ああああうああっ

くそっ来るな化け物

ふふふ馬鹿な人間だ

ふふ……お前たちは
この星を守るエリート集団
と聞いたが随分苦戦している
ようだな……？

こんなやつデータには……
お前は……何者だ？

私はこの船の持ち主さ
そいつは強いだろう？
私の自信作さ
お前もそいつのように
改造してやってもいいぞ？

っ……！

そんなやつになんか
絶対に願ひ下げだ！
そんな物になるくらいなら
私は死んでやる！

わかばもきつとそうしたはずだ……
私だけが助かろうなんて
思わない……



安曇さん…私…
なんて事を…!!

ああああっ



ほう…
仲間を信頼して
いるんだな
そいつは今
どうしているかな?



お前の意識はあっても
自分の意思でその体は動かせない
のだから…

あああうああっ



体が言うことを聞かない…
もうやめて…こんな事
したくない…っ

ああああっ

小娘…
今更何をしようと
遅い…

何を……っ

あああっ

何をする気なの……
いや……止まって……
やめて……

まあ

まあ

ザンザン

ザンザン

っ！

ああああっ

安曇さん!?

何をしてるの……
やめて！
安曇さんがっ

一体何が起きて……

ザン
ビク

ザン
ザン

何してるっやめろっ
安曇さんを離せっ！

このままじゃ
安曇さんが…だめっ
お願い止まってえ！

あああああっ

どうしたらいいの…

今お前が何を
しているか分かるか？

お前と同じように
改造しているんだよ
仲間が増えてよかったな

そんなっ…！

ばけ…ものめ…
絶対…許さな…

あれは自爆スイッチ…
止めなきゃ



落ち着け小娘
あいつは別のことに
利用したいと思ってるんだ
離しな

そんな急に
入れると気を失うぞ？

あっあああ……

よしよし
いい子だな

こいつらを助けに仲間が
送られてくるだろうから
お前にはまた同じように
仲間を捕まえてもらおう

私はお前が捕まえた
仲間達のゲートを開き
地球の核を頂く
その後はお前達の様に
改造して配下に置こう

そんな……

調べた所地球の核の力は
お前達の体から完璧な状態で
取り出すことが出来れば
地球の者以外にも扱えるように
なるようだ

だから安心しな
すぐに使い捨てたりはしない
ある程度核が集まれば
お前に入れた私の細胞を
返してもらう

人間の寿命は短い上に
体は脆いからな
このままでは
不便になるだろう？

ドズドズ

うーん……この体結構
気に入っているからな
そうだな……私がいらないと
思ったものは見た目だけ
反映させてお前に残してやろう

大丈夫だ仲間から攻撃されても
死なないように表面は人間の
細胞で覆ってあるんだが
それは残しておいてやる

ああう……

もちろんお前の
仲間達も
改造してやるさ

みんなは関係ないっ

ああううああ

皆は関係ない？お前が
私の手下共を殺したせいで
人手が足りなくなってるんだよ
減った分はお前達で
補わせて貰うつもりさ

おお可愛そうに
泣いているのかい？
お前のせいで皆が危険に
晒されるんだから当たり前か

うううああ

またない
泣き顔だよ……
せいぜい後悔しながら
生きるんだね

ん？通信が繋がっている？
スーツが異常を感じると
仲間通信が繋がるように
設定されてる様だね

安曇さん
大丈夫ですか！

いやっいやあ

体が...
言うこと聞かない

仲間が来る前に改造して
相手させてやるか
連れて来な

ん？近くに居たのが
もう来たか
運ぶのは後でいい
そいつら捕まえな

そんなっ...
だめ...だめ
来ないで！
皆...!!

発信音を受信した
大丈夫ですか安曇さん

逃げて！

何だお前は
うわああああっ

あいつの持っていた武器を
解析してあれより硬い装備に
アップグレードしよう
そうすれば仲間に切られても
死なないだろう
ああそうなれば体表は
元の人間の細胞で覆わないと
殺されてしまうか……
さあどうしてやろうかねえ……



彩木わかば

腫れぼったい目

上に上がった鼻

厚い唇

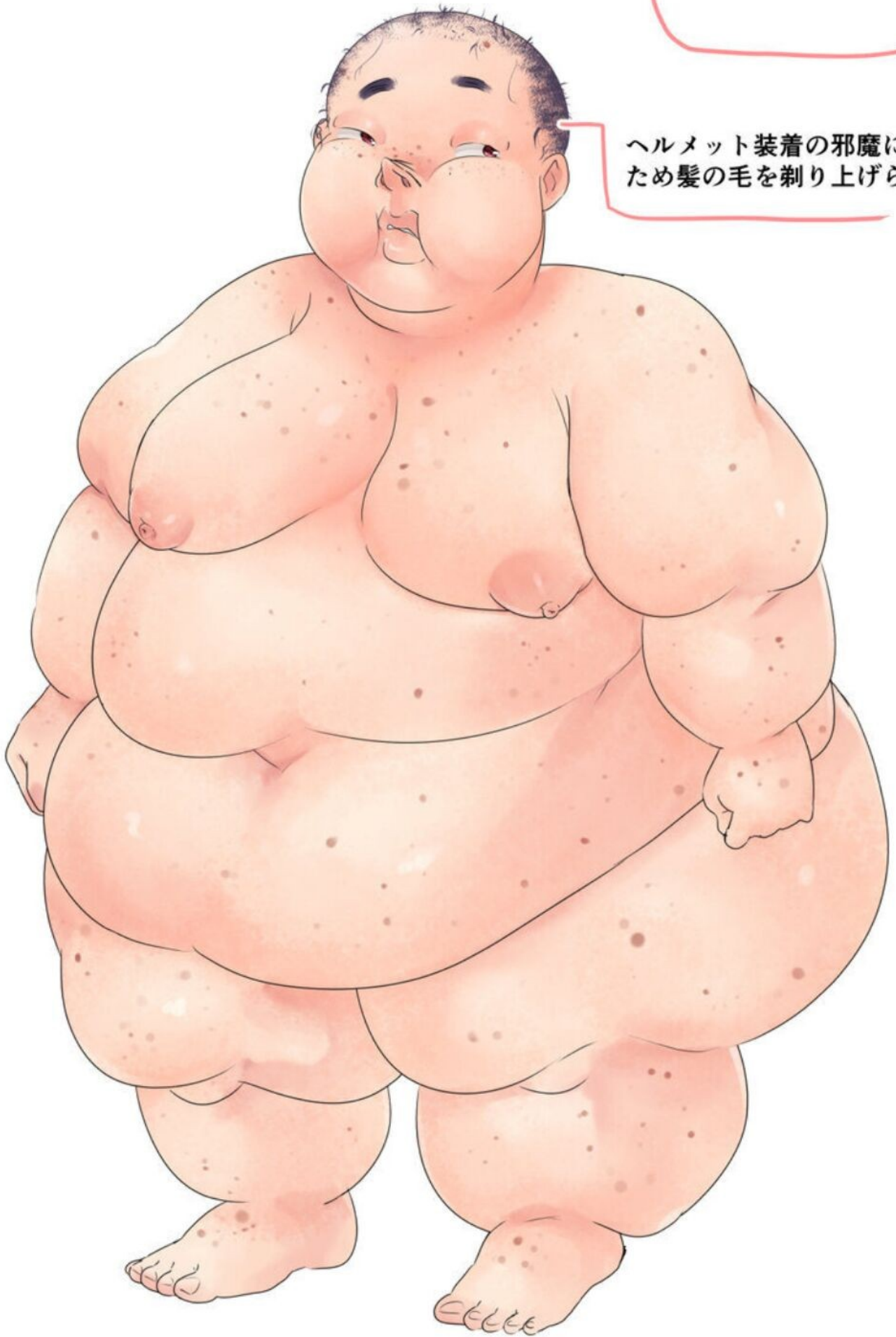
ボサボサの髪

シミの多い肌



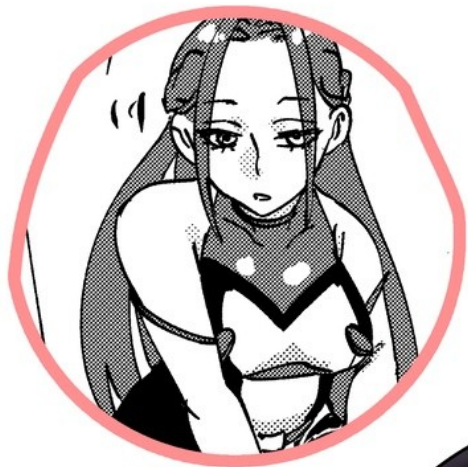
彩木わかば

ヘルメット装着の邪魔になる
ため髪の毛を剃り上げられた





洗脳に使う虫のような生き物の
苗床にされている
虫は産まれると胸に飛びつき母乳を飲む
体は虫用に改造させられているので
育ちが早い



奴田原安曇

洗脳ヘルメットを付けさせられ
戦闘要員として動いている
意識ははっきりとしているが
ヘルメットのせいで自分の思う
ように体を動かせない
これはヘルメットを取った状態





